

平成 29 年 5 月 2 日

我が国における医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方
提言 骨子（案）

（章の骨子ないし論点の執筆担当委員と提出の状況） 予定ページ数

検討体制

要旨（石川副委員長；未提出） 2

目次

1. 背景（石川副委員長；未提出） 2

2. 現状及び問題点

- （1）ヒト遺伝子あるいは遺伝学的改変と倫理（建石委員、柘植委員） 2
- （2）ゲノム編集技術の特徴と限界（高橋委員；骨子提出済） 2
- （3）関連する規制と該当性（町野委員；有江、中山上席学術調査員；骨子提出済） 2
- （4）ゲノム編集を用いる基礎医学研究（阿久津幹事；未提出） 2
- （5）体細胞（体性幹細胞含む）ゲノム編集治療の開発（石井幹事；論点提出済） 2
- （6）ゲノム編集を用いる生殖医療の開発（石井幹事；論点提出済） 2
- （7）ヒト生殖細胞系列ゲノム編集の基礎医学研究（石井幹事；論点提出済） 2

3. 提言（石川副委員長、有江、中山上席学術調査員；未提出） 全 2 ページ

- （1）基礎研究（ヒト生殖細胞系列含まず） 1/2 ページ
- （2）基礎研究（ヒト生殖細胞系列） 1/2 ページ
- （3）体細胞ゲノム編集治療 1/2 ページ
- （4）ヒト生殖細胞系列ゲノム編集 1/2 ページ

<参考文献>

<参考資料 1> 審議経過

<参考資料 2> 公開シンポジウム